

施策分析シート（平成21年度）

No1

施策名	資源循環型社会の形成	施策No	07-03	部課名	環境清掃部清掃リサイクル課
関連部課名	環境清掃部荒川清掃事務所				
行政評価事業体系	分野	環境先進都市[]			
	政策	地球環境を守るまちの実現[07]			

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行のシステムを見直し、区民、事業者、行政が連携し、それぞれの役割に応じて行動することにより、循環型社会を実現する。 ・ごみの減量と資源化・再利用というリサイクルの視点に立った循環型清掃事業を区民、事業者、行政が一体となって展開する。
-----------	--

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (28年度)	
	ごみ排出量：トン/年	64,261	61,657	61,422	58,000	32,000	5割減が目標 (18-28年度)
	資源回収量：トン/年	11,748	12,293	12,212	12,363	17,000	5割増が目標 (18-28年度)
	集団回収モデル事業参加町会数	101	115	118	118	119	20年度中にほぼ全町会で実施済
	リサイクル率：%	15.5	16.6	16.6	18.0	34.7	$(資源量 / (ごみ量 + 資源量)) \times 100$

現状と課題（指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出量を削減するためには、家庭ごみの4割を占める生ごみの減量化、マイバッグの利用（レジ袋の削減）等を推進する。合わせて、目標値達成のための施策を総合的に推進するために、ごみに含まれる資源の分別を更に徹底するほか、更なる資源回収品目の拡大やごみ減量化に対する区民の意識改革にもつながると考えられるごみの有料化等を検討する必要がある。 そのためには、区民や事業者の理解と協力を得ることが課題である。 ・資源回収量については、分別指導の徹底等を行うことにより、目標値達成を目指す。
--------------------	--

今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度から、区内全域においてごみの分別ルールの変更を行うとともに、単一素材であるペットボトルや白色トレイの資源回収も開始したことから、分別の徹底を図るとともに、ごみの減量をすすめるための3Rを推進し、更に再生資源の拡充を進める。 ・荒川区の資源回収は集団回収による実施を基本としており、今後も住民が集団回収を円滑にできるよう、支援体制の充実に努めていく必要がある。 ・更なる資源回収品目の拡大について、その実施方法やルート等の検討を進めるとともに、その他のプラスチックについても、費用対効果や実行性等も考慮し、再生利用のあり方について方向性を固める必要がある。
---------------	---

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	持続可能な資源循環型社会を実現する。

施策分析シート（平成21年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		19年度	20年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
一般廃棄物処理業等許可事務事業	05-02-01	684	4,293	推進	推進	業者の資質等の向上を図り、生活環境保全等を図る必要がある。
広報普及事業	05-02-04	3,120	3,153	推進	推進	ごみ減量を推進するには、区民や事業者の意識改革、実践が不可欠である。
サーマルリサイクルモデル事業	05-02-07	1,581	0	見直し	休止・完了	20年度全域実施により、モデル事業を終了する。
リサイクル実践活動事業	05-02-08	0	0	継続	継続	実行委員会を充実させる方向で実施していく。
集団回収支援事業	05-02-09	256,183	322,612	重点的に推進	重点的に推進	良質な資源の回収、意識啓発等の効果があり、優先度は高い。
空き缶圧縮機整備事業	05-02-10	92	135	継続	継続	現状の体制で実施していく。
ストックヤード整備事業	05-02-11	121	223	継続	継続	現状の体制で実施していく。
資源回収事業 (清掃リサイクル課・荒川清掃事務所)	05-02-12 05-03-18	36,718	24,593	推進	推進	集団回収との一体的な実施等により資源化を推進させていく。
トレイ回収事業	05-02-13	775	2,426	推進	推進	集団回収との一体的な実施等により資源化を推進させていく。
資源化・再商品化事業（びん・缶・ペットボトル）	05-02-14	10,796	7,368	推進	推進	回収資源を再生資源として流通させるためには、選別等の資源化が必要である。
リサイクルセンター管理運営事業	05-02-15	2,305	1,739	推進	休止・完了	平成21年4月福祉部へ所管替
尾竹橋施設管理運営・施設建設事業	05-02-16	0	0		推進	施設整備後リサイクル実践事業を拡充していく。
新リサイクルセンター整備事業	05-02-17	0	0		重点的に推進	資源中間処理体制の整備が不可欠なため、優先度は高い。
ペットボトル店頭回収事業	05-03-19	19,401	18,821	継続	継続	集団回収等の一体実施により、資源化を推進していく。
合 計		331,776	385,363			